



きょうぎん

MINI
DISCLOSURE

THE SAGA KYOEI BANK, LTD.

2015 ミニディスクロージャー

【平成27年9月期 営業の中間ご報告】
(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

お客さまと未来へ。
マイ・パートナー・バンク



佐賀共栄銀行

はじめに

いつも佐賀共栄銀行をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当行は、多くの皆さまに親しまれる「地域に根ざした面倒見の良い銀行」を目指しております。

このディスクロージャー誌は、現在の“きょうぎん”の姿をご理解いただくために、できるだけわかりやすく、具体的に説明したものです。

今後とも、皆さまに安心してお取引いただける健全性の高い銀行を目指してまいりますとともに、経営内容等について適時適切な情報開示に努めてまいります。

引き続き、“きょうぎん”をご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



当行の概要

(平成27年9月30日現在)

商号 株式会社 佐賀共栄銀行
(THE SAGA KYOEI BANK, LTD.)

設立 昭和24年12月

本店所在地 佐賀市松原四丁目2番12号

預金 2,247億円

貸出金 1,796億円

店舗数 35店舗
(本支店34・出張所1)

行員数 432名



目次

はじめに	1
当行の概要	1
経営理念・当行の目指す銀行像	2
第十一次中期経営計画	2
個人のお客さまへの取り組み	3~4
法人・個人事業主のお客さまへの取り組み	4~5
地方創生への取り組み	5~6
トピックス	6
業績ハイライト	7~8
財務諸表	9
役員・株式のご案内・株式の状況	10
充実のATMネットワーク拡充を目指して	10
店舗案内	11

経営理念

地域と共に栄える銀行

当行の目指す銀行像

地域に根ざした
面倒見の良い銀行

第十一次中期経営計画 【平成27年4月～平成30年3月(3ヶ年)】

経営計画テーマ

お客さまと未来へ。

マイ・パートナー・バンク きょうぎん Next Stage



第十一次中期経営計画でのテーマは、「お客さまとともに、明るい未来を切り拓きたい」、「お客さまの生涯のパートナー・バンクとして、当行を選んでいただきたい」との強い思いを表したもので、第十次中期経営計画に引き続き採用しております。

経営課題

地域活性化
への貢献

人材育成
の強化

収益基盤
の拡大

地域活性化に向けた各種プロジェクトに主体的に参画するとともに、お客さまのライフステージに応じた支援を行います。

お客さまとの接点の拡大と目利き能力の向上を通じて、商品・サービスの質の向上を図り、地域シェアの拡大を目指します。

お客さまへのコンサルティング能力発揮のため、専門知識の習得に努めます。

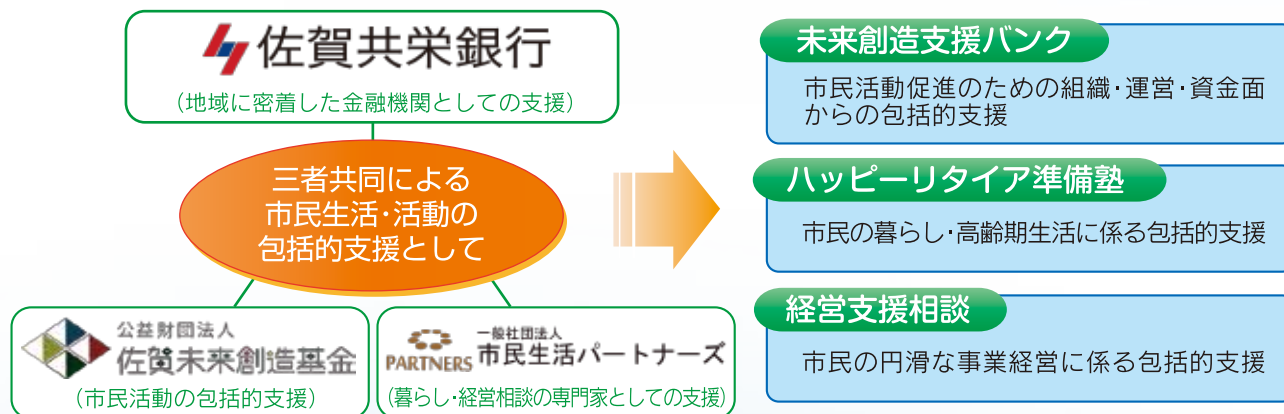
本期間中は、「地域活性化への貢献」、「収益基盤の拡大」、「人材育成の強化」を経営課題として、目指す姿である「地域に根ざした面倒見の良い銀行」の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでまいります。

個人のお客さまへの取り組み

● 市民生活及び市民活動の包括的支援

当行は、公益財団法人佐賀未来創造基金及び一般社団法人市民生活パートナーズとの間で、「市民生活及び市民活動の包括的支援に関する協定」を締結し、市民の暮らしや活動を包括的に支援することで、市民が安心して暮らし、生き生きと活動できる社会づくりを促進するための包括的支援を実施します。

市民生活及び市民活動の包括的支援イメージ



「ハッピーリタイア準備塾」の開催

平成27年5月31日他2日間、定年をお迎えのお客さまが、人生の第2ステージを「ハッピーリタイア」として暮らしていただけるよう、「ハッピーリタイア準備塾」を開催し、「新生活のライフプランづくり」や「保険・税金等の費用の節約術」等を実践体験いただきました。

「クラウドファンディング活用セミナー」の開催

平成27年10月17日、佐賀県における「クラウドファンディング※」の普及に資するために、飛騨信用組合常勤理事(兼ひだしんイノベーションパートナーズ代表取締役副社長)である古里圭史様を講師に迎え、「クラウドファンディング活用セミナー」を開催しました。

当行は、クラウドファンディング等の新しい資金調達手法への取り組みを検討し、お客さまの創業等を支援しつつ、地域の活性化に努めてまいります。

※クラウドファンディングとは、ある「志」を持った人や団体に対する資金を、ネットを通じて多数の支援者から収集する手法

● 「きょうぎん無料年金相談会」開催中

社会保険労務士に同席いただき、今後、年金をお受け取りになられる方を対象として「きょうぎん無料年金相談会」を定期的に開催しております。年金請求手続きや各種書類記入方法、年金受取の時期や金額等、年金全般に関するご相談をお受けしており、毎回好評をいただいております。

今後もお客さまからの様々なご相談にお応えできるよう努めてまいります。

● インターネット・モバイルバンキングサービスの基本手数料を無料化

平成27年6月1日から、インターネット・モバイルバンキングを活用したお取引を、広くお客さまに提供させていただくため、個人のインターネット・モバイルバンキングの基本手数料を無料化しました。

今後もお客さまへの各種サービスの提供、利便性向上に努めてまいります。



法人・個人事業主のお客さまへの取り組み

お客さまへの経営支援に対しては、営業店と本部所管部が連携のうえ、お客さまのライフステージ（創業、成長、再生、承継等）に応じた最適なソリューションの提案、助言等の細やかな支援活動を行うことにより、コンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

● 創業・新規事業開拓の支援

- ◆ 佐賀県地域産業支援センター、株式会社日本政策金融公庫佐賀支店、その他県内の各地方自治体や商工会議所等と連携し、創業支援等に取り組んでおります。
- ◆ 補助金・制度融資等の情報を発信しております。

● 成長段階における支援

- ◆ 「きょうぎん情報市場」(行内ネットワーク)や第二地方銀行協会加盟行間の情報交換制度等を活用したビジネスマッチング機会の提供を行っております。
- ◆ 私募債、ABL(動産・債権譲渡担保融資)等、多様な資金供給方法の提供を行っております。
- ◆ 平成27年7月2日にTRC東京流通センターで開催された「地方創生『食の魅力』発見商談会2015(当行のほか、第二地方銀行27行、リッキービジネスソリューション(株)が主催)」に当行取引先2社が参加されました。今後も、各種商談会やビジネスマッチングを通じて、お客さまのマーケット拡大をサポートしてまいります。

● 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ◆ お客さまの財務状況等の継続的な把握と事業等の改善に向けた提案の実施や外部専門家・外部機関等との連携による経営改善計画策定支援や事業改善支援を行っております。
- ◆ 中小企業基盤整備機構や株式会社日本M & Aセンター等の外部機関と連携し、事業承継やM & Aの支援に取り組んでまいります。

● 「きょうぎんビジネスクラブ」の開催

平成27年7月24日に、「きょうぎんビジネスクラブ」講演会・交流会を鳥栖市にて開催し、100名を超えるお客さまにご参加いただきました。

講演会では、司法書士法人州都綜合法務事務所の代表司法書士である原弘安様と株式会社ナチュラルライフ、株式会社サガン・ドリームの代表取締役竹原稔様から講演を賜りました。

きょうぎんビジネスクラブでは、今後も地域に根ざした取り組みの一環として、各地での開催を検討し、「取引先への有益な情報提供」や「地域の皆さまとのリレーション強化」を図ってまいります。

● 「きょうぎん絆塾」の開催

きょうぎん絆塾は、「若手経営者・次世代経営者」を対象に、経営者相互の交流と経営に関する情報交換等を通じて、参加者同士の親睦を図ることを目的に開催しております。

平成27年4月10日に開催した、第4回「きょうぎん絆塾」講演会・交流会（後援：佐賀商工会議所）では、講師に九州経済産業局の田中幸仁様、佐賀商工会議所の吉野英明様をお迎えし、約80名のお客さまにご参加いただきました。

今後も若手経営者や後継者などの次世代経営者の皆さまとのリレーション強化を図ってまいります。

地方創生への取り組み

● 行内体制の整備

平成27年4月1日、営業統括部を担当事務局として、営業統括部の担当役員を「地方創生統括責任者」に、県内の各営業店長を「地方創生サポーター」とする行内体制を整備し、地方公共団体が策定する「地方版総合戦略」の策定および円滑な施策の実施に積極的に関与することとしています。

今後、地方創生に関する取り組みに積極的に参画することにより、地域経済の持続的な発展および地域の活性化に貢献してまいります。

● 「きょうぎん空き家活用・解体ローン」の取扱開始

平成27年9月14日、地方創生の取り組みの一環として、昨今社会問題となっている空き家を活用するための改装・改築や老朽化した空き家の解体を目的とした資金にご利用できるローンを発売しました。

● 「佐賀観光活性化ファンド」の設立

平成27年7月6日、当行を含む佐賀県内の全地域金融機関は共同で、株式会社地域経済活性化支援機構と「佐賀観光活性化ファンド」を設立しました。また、同日、同金融機関及び同機構と「観光を軸とした地域活性化」推進協定を締結しました。

今後、本ファンド等を活用し、佐賀県全域における「観光まちづくりモデル」の実現に向けた投融資及び専門家による支援を行ってまいります。

● 「きょうぎん未来基金」助成金の贈呈

「きょうぎん未来基金」は、当行が県内の様々な分野の社会貢献活動に役立てていただくため、公益財団法人佐賀未来創造基金を通じて創設した基金です。

「きょうぎん未来定期預金」としてお預け入れいただいた金額に、一定割合を乗じた金額を助成金として、今年度につきましては平成27年5月に第4期の助成金を佐賀県内の7団体に贈呈しており、平成27年12月に第5期の助成金贈呈を予定しております。



トピックス

● 「プラチナくるみん認定」の取得

平成27年6月3日、佐賀労働局から、九州・沖縄地区で初めてとなる「プラチナくるみん認定」を取得しました。

「プラチナくるみん認定」は、子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が認定を受けられる制度です。

当行は、「働きやすい職場環境づくり」を目指して、従業員のワークライフバランス実現に向けて、一人ひとりが活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。



● 地域の皆さまとのふれあい

各地の地域行事への積極的な参加や、近隣小学校の社会科見学の受け入れ等を通じ、地域の皆さまとの交流を図っております。



業績ハイライト

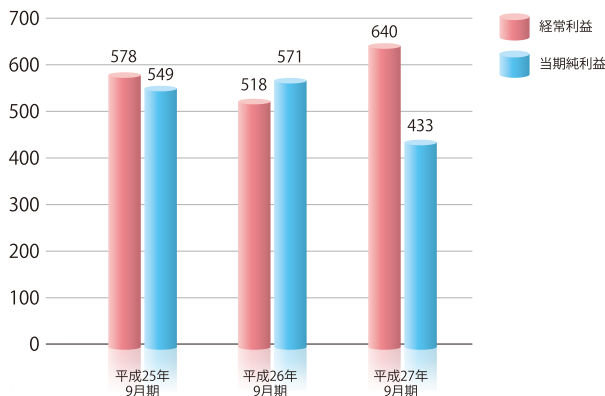
1. 収益の状況

経常収益は、株式等売却益が増加したことなどから、前年同期比95百万円増加し、31億6百万円となりました。

経常費用は、預金保険料等の営業経費が減少したことなどから、前年同期比27百万円減少し、24億65百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比1億22百万円増加し、6億40百万円となりました。中間純利益は、前年同期比1億38百万円減少し、4億33百万円となりました。

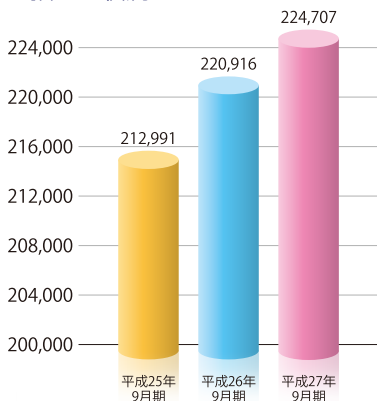
単位：百万円



2. 預金・貸出金・預り資産の状況

■預金の状況

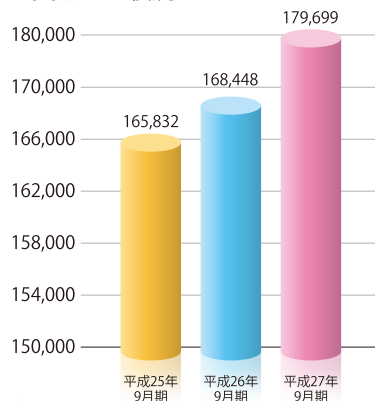
単位：百万円



預金につきましては、個人および法人預金が増加したことにより、前年同期比37億90百万円増加し、2,247億7百万円となりました。

■貸出金の状況

単位：百万円

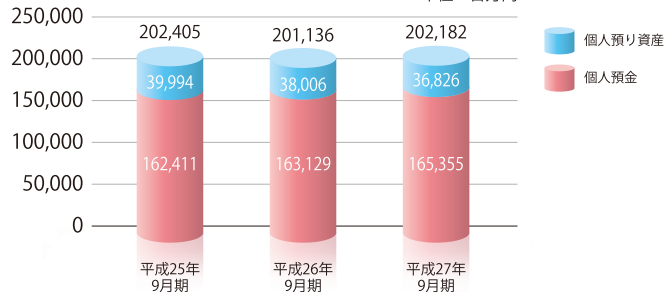


貸出金につきましては、主に地公体向けおよび事業者向け貸出が増加したことにより、前年同期比112億50百万円増加し、1,796億99百万円となりました。

3. 個人預金と個人預り資産の状況

個人預金と個人預り資産の合計残高につきましては、個人預金の増加により、前年同期比10億46百万円増加しました。

単位：百万円

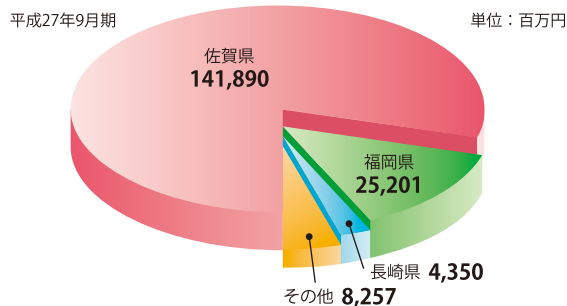


■備考：記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト

4. 佐賀県内への貸出

佐賀県内への貸出金は、1,418億90千万円であり、貸出金の78.9%が地元向け貸出金となっております。

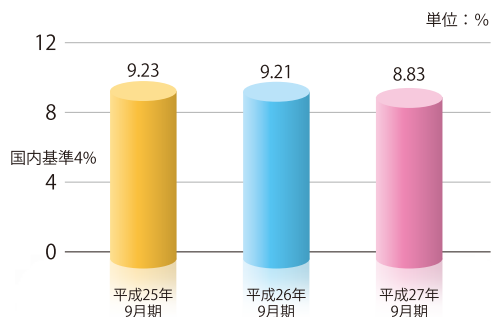


5. 自己資本比率

平成27年9月期における自己資本比率は8.83%となりました。なお、平成26年3月末よりバーゼルIII（新基準）にて算出しております。

自己資本比率は国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

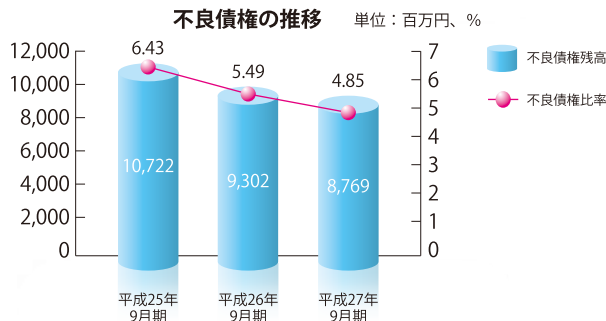
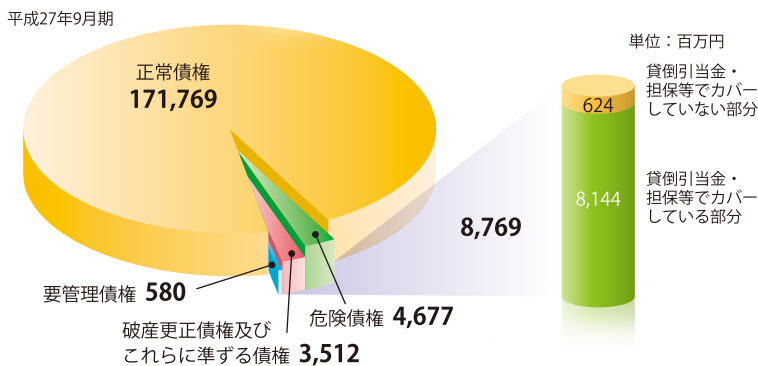
当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。



6. 不良債権の状況

当行は、「地域と共に栄える銀行」を経営理念としており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力するとともに、不良債権の圧縮に努めております。

平成27年9月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、87億69百万円であり、総与信に対する割合は4.85%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高の内92.87%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。



金融再生法に基づく開示基準の概要

- ◆総与信…貸出金、外国為替、支払承諾見返、未收利息、仮払金、貸付有価証券
- ◇破産更正債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- ◇危険債権…経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- ◇要管理債権…元金または利息の支払が3ヶ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権(上記2債権を除く)

■備考：記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	平成27年9月期
【資産の部】	
現金預け金	11,909
商品有価証券	3
有価証券	60,395
貸出金	179,699
その他資産	498
有形固定資産	3,850
無形固定資産	65
支払承諾見返	744
貸倒引当金	△ 4,206
資産の部合計	252,959
【負債の部】	
預金	224,707
借入金	11,825
社債	800
その他負債	846
賞与引当金	100
役員退職慰労引当金	110
睡眠預金払戻損失引当金	111
繰延税金負債	307
再評価に係る繰延税金負債	390
支払承諾	744
負債の部合計	239,944
【純資産の部】	
資本金	2,679
資本剰余金	1,259
利益剰余金	6,816
自己株式	△ 58
その他有価証券評価差額金	1,638
土地再評価差額金	680
純資産の部合計	13,015
負債及び純資産の部合計	252,959

貸借対照表とは？

企業の財政状況を表したものです。「資産の部」で資金をどのように運用しているのかを表し、「負債の部」、「純資産の部」で資金をどのように調達したかを表しています。

資産の部とは？

「貸出金」、「有価証券」など、資金の運用や保有財産の状況を示しています。

負債の部とは？

「預金」、「賞与引当金」などの資金の調達や引当金の状況を示しています。

純資産の部とは？

株主の皆さまから出資いただいている「資本金」、これまで蓄えてまいりました「利益剰余金」等を示しています。

損益計算書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

科目	平成27年9月期
経常収益	3,106
資金運用収益	2,314
貸出金利息	1,617
有価証券利息配当金	691
役員取引等収益	333
その他業務収益	12
その他経常収益	446
経常費用	2,465
資金調達費用	114
預金利息	98
役員取引等費用	261
その他業務費用	0
営業経費	2,031
その他経常費用	58
経常利益	640
特別利益	-
特別損失	32
税引前中間純利益	608
法人税等合計	175
中間純利益	433

損益計算書とは？

企業の経営成績を表したものです。営業活動の結果、どのようにして利益をあげたものかを表しています。

経常収益とは？

銀行の通常業務で発生する収益を表したもので、一般企業の「売上高」にあたります。

経常費用とは？

銀行の通常業務で発生する費用を表したものです。

経常利益とは？

銀行の通常業務での利益を表したもので、経常収益から経常費用を控除した利益のことです。

中間純利益とは？

経常利益から特別損益及び税金費用を考慮して算出したもので、銀行が上半期中に得た利益となります。

■備考:記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

役員・株式のご案内・株式の状況

役員 (平成27年10月1日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	二宮 洋二
専務取締役 (代表取締役)	井手 一文
取締役	大島 英明
取締役	武藤 明彦
取締役	宮崎 英喜
取締役	岩永 妙子
取締役	堤 浩晃
社外取締役	牟田 清敬
監査役	平松 正一
社外監査役	江崎 匡慶
社外監査役	坂本 克治

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行済株式総数 22,034,500株
平成27年3月31日現在株主数 1,275名

株式のご案内

- ・事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 毎年6月
- ・配当金
 - ①期末配当金は毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。
 - ②中間配当金をお支払いする場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、ご指定の方法によってお支払いいたします。
- ・基準日
定時株主総会の基準日については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- ・公告方法 電子公告により行います。(<http://www.kyogin.co.jp/>)
但し、やむを得ない事由が生じたときは、
佐賀新聞および西日本新聞に掲載いたします。

充実のATMネットワーク拡充を目指して

出張や
旅行の時
でも

きょうぎんのキャッシュカードなら

全国のゆうちょ銀行・郵便局ATMで使えます!

近くの
郵便局で

お引き出し・お預入れ

平日 8:45~18:00

手数料無料!

セブン
銀行で

全国の  セブン銀行ATMで使えます!

全国で
対応!

お引き出し・お預入れ 平日 8:45~18:00

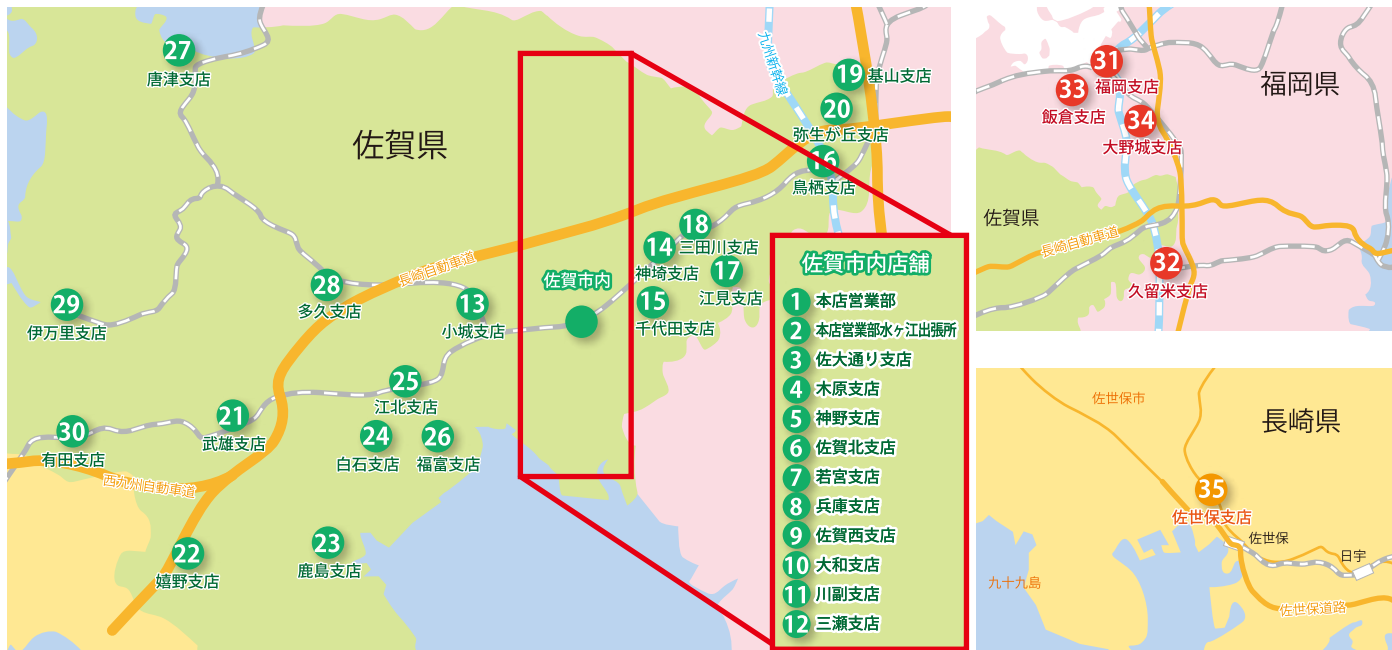
手数料無料!

お引き出し

ほぼ24時間!

当行ATMにおきましても順次機能の拡充に努めてまいります。

店舗案内



佐賀市内店舗

- 1 本店営業部
- 2 本店営業部水ヶ江出張所
- 3 佐大通り支店
- 4 木原支店
- 5 神野支店
- 6 佐賀北支店
- 7 若宮支店
- 8 兵庫支店
- 9 佐賀西支店
- 10 大和支店
- 11 川副支店
- 12 三瀬支店

1 本店営業部 佐賀市松原4-2-12	0952-26-0861	13 小 城 支 店 小城市小城町新小路274-1	0952-73-3151	25 江 北 支 店 杵島郡江北町大字山口1355-1	0952-86-3141
2 本店営業部 水ヶ江出張所 佐賀市水ヶ江2-16-65	0952-24-0168	14 神 崎 支 店 神崎市神崎町田道ヶ里2270-1	0952-52-4215	26 福 富 支 店 杵島郡白石町大字福富1420	0952-87-3651
3 佐大通り支店 佐賀市本庄町大字本庄213-1	0952-23-2279	15 千代田支店 神崎市千代田町直鳥444-1	0952-44-3581	27 唐 津 支 店 唐津市本町1950	0955-73-4161
4 木 原 支 店 佐賀市木原3-4-1	0952-24-4101	16 鳥 栖 支 店 鳥栖市蔵上2-164	0942-82-4188	28 多 久 支 店 多久市北多久町大字小侍1089-6	0952-75-3151
5 神 野 支 店 佐賀市神野東2-2-1	0952-31-0121	17 江 見 支 店 三養基郡みやき町大字市武1419-8	0942-96-3355	29 伊万里支店 伊万里市新天町522-2	0955-23-2181
6 佐賀北支店 佐賀市高木瀬西5-14-1	0952-31-3315	18 三田川支店 神崎郡吉野ヶ里町吉田839-1	0952-53-1086	30 有 田 支 店 西松浦郡有田町本町丙1066	0955-42-5111
7 若 宮 支 店 佐賀市若宮2-12-1	0952-31-7731	19 基 山 支 店 三養基郡基山町大字宮浦257-10	0942-92-1232	31 福 岡 支 店 福岡市博多区綱場町7-1	092-281-2236
8 兵 庫 支 店 佐賀市兵庫南2-15-38	0952-29-3857	20 弥生が丘支店 鳥栖市弥生が丘2-13	0942-82-8151	32 久留米支店 久留米市原古賀町28-10	0942-33-3168
【きょうぎんプラザコンシェルジュ兵庫】		【きょうぎんプラザコンシェルジュ弥生が丘】		33 飯 倉 支 店 福岡市早良区飯倉7-32-10	092-871-2833
9 佐賀西支店 佐賀市長瀬町3-3	0952-24-0361	21 武 雄 支 店 武雄市武雄町大字富岡7776-12	0954-22-3165	34 大野城支店 大野城市若草3-2-18	092-596-5639
10 大 和 支 店 佐賀市大和町大字尼寺1326-1	0952-62-1256	22 嬉 野 支 店 嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-62	0954-43-1210	35 佐世保支店 佐世保市島瀬町7-17	0956-23-0171
11 川 副 支 店 佐賀市川副町大字鹿江628-3	0952-45-1345	23 鹿 島 支 店 鹿島市大字高津原4400-1	0954-62-4146		
12 三 瀬 支 店 佐賀市三瀬村三瀬2769-10	0952-56-2310	24 白 石 支 店 杵島郡白石町大字廿治1556-2	0952-84-3631		

きょうぎん

【編集部】 佐賀共栄銀行 総合企画部

〒840-0831 佐賀市松原四丁目2番12号

TEL 0952-26-2161(代表)

URL <http://www.kyogin.co.jp/>